

## [総会資料と決定事項]

## 日本透析医会通常総会資料および主な決定事項

日本透析医会通常総会が平成 21 年 5 月 17 日（日）午後 2 時からホテルマイステイズ御茶ノ水（東京）にて開催された。以下に、その際の資料（抜粋）と主な決定事項を報告する。

(社) 日本透析医会通常総会資料

I 平成 20 年度事業報告書

II 平成 20 年度財務諸表

III 平成 21 年度事業計画書（案）

IV 平成 21 年度予算（案）

平成 21 年度通常総会報告

(社) 日本透析医会通常総会議事録

(社) 日本透析医会役員名簿

## (社) 日本透析医会通常総会資料

### 第1号議案

### 平成20年度事業報告書

#### 第1会議

##### 総会

##### 1. 平成20年度通常総会

- 平成20年5月18日 第1号議案 平成19年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件  
第2号議案 平成20年度事業計画及び予算の承認を求める件  
第3号議案 その他

##### 理事会

##### 1. 平成20年5月18日

##### 通常総会協議事項

- 第1号議案 平成19年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件  
第2号議案 平成20年度事業計画及び予算の承認を求める件  
第3号議案 その他

##### 常任理事会

##### 1. 平成20年4月25日

##### 報告事項

- (1) 平成19年度決算について  
(2) 委員会報告  
医療廃棄物対策委員会  
(3) 薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会について  
(4) 自立支援医療（更正医療）に於ける腎機能障害の適用範囲について  
(5) その他

##### 2. 平成20年5月18日

##### 協議事項

- 第1号議案 平成19年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件  
第2号議案 平成20年度事業計画及び予算の承認を求める件  
第3号議案 その他

##### 3. 平成20年6月21日

##### 協議事項

- (1) レセプト集計項目の見直し（時間区分）について  
(2) 「医療廃棄物の現状に関するアンケート調査」のお願いについて

- 報告事項 (1) 安全対策の充実に向けた感染事故の見直しについて
4. 平成 20 年 7 月 25 日
- 協議事項 (1) 著者抄録利用許諾について
- 報告事項 (1) 公募助成決定（信楽園病院・宮崎滋）取り消しについて  
(2) TBS 放送ドラマの内容について  
(3) 沖縄県透析医会支部結成について  
(4) その他
5. 平成 20 年 9 月 26 日
- 報告事項 (1) 委員会報告  
合併症対策委員会，医療廃棄物対策委員会  
(2) 透析患者における新型インフルエンザ対策合同会議について  
(3) 新公益法人制度の施行について  
(4) その他
6. 平成 20 年 10 月 24 日
- 協議事項 (1) レセプト分析調査について  
(2) 新型インフルエンザ感染対策に係る支部長へのお願いについて
- 報告事項 (1) 平成 20 年度中間決算について  
(2) 委員会報告について  
研修委員会，広報委員会  
(3) 「キリンダー液 AF - 2 号」の自主回収（クラス II）のお知らせについて
7. 平成 20 年 11 月 28 日
- 協議事項 (1) 「透析患者における新型インフルエンザ対策ガイドライン」について  
(2) 新型インフルエンザ感染対策に関してのお願いについて
- 報告事項 (1) 公募助成申請の評価結果について  
(2) HDF フィルター使用状況について  
(3) 平成 19 年度日本財団助成事業監査結果について
8. 平成 20 年 12 月 19 日
- 協議事項 (1) 「透析技能検定試験」協賛の依頼について
- 報告事項 (1) 「新型インフルエンザ感染対策に関してのお願い」について
9. 平成 21 年 1 月 23 日
- 協議事項 (1) 「高齢透析患者の生活と意識に関する調査」の協力依頼について  
(2) 「透析施設の経営状況」に対する今後の調査内容，方法等について

## 10. 平成 21 年 2 月 27 日

- 報告事項
- (1) 平成 20 年度仮決算について
  - (2) 委員会報告について  
広報委員会
  - (3) その他

## 11. 平成 21 年 3 月 27 日

- 協議事項
- (1) 平成 21 年度通常理事会及び通常総会の開催について
  - (2) 今後 2 年間の事業計画について

- 報告事項
- (1) 委員会報告について  
研修委員会

## 第2 委員会

## 平成20年度委員会開催状況

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

委員会	開催年月日	備考
1. 適正透析療法委員会 (1) 適正透析導入部会 (2) 維持透析療法部会 (3) 適正透析普及部会 (4) 適正医療経済部会  (5) 医療廃棄物対策部会 (6) 在宅血液透析部会 (7) 医療制度検討部会	平成20年06月21日 平成20年06月21日 平成20年07月04日 平成20年10月24日	保険審査懇談会 レセプト調査 レセプト調査
2. 医療安全対策委員会 (1) 災害時透析医療対策部会 (2) 感染対策部会  (3) 医療事故対策部会	平成20年06月21日 平成20年09月24日 平成20年10月09日 平成20年10月30日	災害情報ネットワーク会議
3. 合併症対策委員会	平成20年08月01日	
4. 腎移植普及推進委員会		
5. 腎不全予防医学調査研究委員会		
6. 研修委員会	平成20年10月05日 平成21年03月08日	
7. 広報委員会	平成20年06月12日 平成20年10月09日 平成21年02月12日	
8. 情報管理委員会		
9. 内規委員会		
10. 倫理委員会		
11. 学会等助成審査委員会	平成20年10月24日 平成21年02月27日 平成21年03月27日	
12. 学会等研究助成交付審査委員会	平成20年11月14日 平成21年03月02日 平成21年03月31日	

## 平成 20 年度委員会報告

## 1. 適正透析療法委員会

## (1) 適正透析導入部会

透析導入者審査委員会設置支部（愛知）に助成した。  
報告については、21 年度の日本透析医会雑誌に掲載する。

## (2) 適正透析普及部会

（平成 20 年度 1 回開催）支部長会議を開催し、20 年度診療報酬改定の対応について経緯を説明した。  
法人見直しおよび来年の役員改選について会長より説明があった。

## (3) 適正医療経済部会

（平成 20 年度 3 回開催）

- 1) 透析医療費の分析調査について検討し、病院及び診療所（201 施設）の協力をいただき、平成 20 年 6 月分外来透析レセプトの集計分析が行われた。報告については、21 年度の日本透析医会雑誌に掲載する。
- 2) 第 13 回透析保険審査委員懇談会を開催した。検討事項で基本診療科・医学管理料・検査・投薬・注射・処置・手術と診療行為別に討論を行った。また、事前にアンケートを行い、要望事項で 65 件の回答をいただいた。  
報告については、日本透析医会雑誌（Vol. 23-3）に掲載した。

## 2. 医療安全対策委員会

## (1) 災害時透析医療対策部会

（平成 20 年度 1 回開催）

## 1) 災害時活動

平成 20 年度は、岩手・宮城内陸地震、岩手県沿岸部を震源とする震度 6 強の地震と茨城県沖地震（2 回）、沖縄本島近海を震源とする震度 5 弱の地震が襲来した。幸いなことにこれらの地震による透析施設の被害は少なかった。

以下に平成 20 年度の災害時活動を示した。

- ・茨城県沖で震度 5 弱（5 月 8 日）
- ・岩手・宮城内陸で震度 6 強（6 月 14 日）
- ・茨城県沖で震度 5 弱（7 月 5 日）
- ・沖縄本島近海で震度震度 5 弱（7 月 8 日）
- ・岩手県沿岸部で震度 6 強（7 月 24 日）

- 2) 6 月 21 日、クオリティホテル神戸において第 9 回災害情報ネットワーク会議を開催し、54 名の参加を得て活動に関する活発な討論が行われた。

- 3) 9 月 2 日、第 9 回災害時情報伝達訓練を行い、41 都道府県 902 施設の参加を得た。

北海道 = 4	青森 = 13	岩手 = 1	宮城 = 9	福島 = 1
秋田 = 1	福島 = 6	茨城 = 2	栃木 = 20	千葉 = 72
東京 = 103	神奈川 = 58	新潟 = 3	富山 = 1	石川 = 8
山梨 = 26	長野 = 60	岐阜 = 8	静岡 = 9	愛知 = 130
三重 = 12	京都 = 1	大阪 = 56	兵庫 = 61	和歌山 = 15
鳥取 = 5	島根 = 11	岡山 = 60	広島 = 21	山口 = 2
香川 = 3	愛媛 = 2	高知 = 36	福岡 = 14	佐賀 = 1
大分 = 5	宮崎 = 1	鹿児島 = 22		

- 4) 情報システム・メーリングリスト保守管理

- 「透析医療災害対策メーリングリスト」taisaku\_ml 登録アドレス数 138
- 「災害情報ネットワークメーリングリスト」joho\_ml 登録アドレス数 610

5) 携帯電話による災害時情報の収集が可能となる RSS システムを構築した。

(2) 感染対策部会

(平成 20 年度 3 回開催)

- 1) 新型インフルエンザ対策合同会議を設け、新型インフルエンザウイルス感染の予防策、対策を協議した。
- 2) 「新型インフルエンザ対策ガイドライン」を作成、会員宛に発送した。

3. 合併症対策委員会

(平成 20 年度 1 回開催)

透析患者の合併症とその対策 No. 18「貧血治療の新時代」の発刊等について検討し、3 月末に会員に送付した。

4. 腎移植普及推進委員会

社団法人日本臓器移植ネットワーク運営事業に協力した。

5. 研修委員会

(平成 20 年度 2 回開催)

(1) 医会支部の学術研究に助成した。

1) 広島県透析連絡協議会

研究課題：「骨髄幹細胞を用いた腹膜硬化症に対する再生療法」

(2) 医会支部が開催した研修会・講演会に助成した。

支 部 名	会 場	開催年月日
北海道透析医会	札幌全日空ホテル	平成 20 年 8 月 30 日
青森県透析医会	財団法人双仁会厚生病院	平成 20 年 6 月 1 日
宮城県透析医会	フォレスト仙台	平成 20 年 12 月 7 日
福島県支部	郡山ビューホテル	平成 20 年 6 月 7 日
愛知県透析医会	キャッスルプラザ孔雀の間	平成 20 年 11 月 30 日
大阪府透析医会	グランビア大阪	平成 20 年 11 月 8 日
鹿児島県透析医会	城山観光ホテル	平成 20 年 5 月 24 日

(3) (社) 日本透析医会シンポジウムを開催し、98 名が参加した。

「透析医のための CKD 管理」—透析導入後の予後向上を目指して—

日 時：平成 20 年 10 月 5 日 (日)

午前 9 時～午後 4 時

場 所：品川コクヨホール

講演者：今井圓裕 (大阪大学医学部附属病院) ほか 6 名

(4) (社) 日本透析医会研修セミナーを開催し 143 名が参加した。

日 時：平成 21 年 3 月 8 日 (日)

午前 9 時～午後 4 時

場 所：品川コクヨホール

講演者：深川雅史（神戸大学医学部附属病院）他 6 名

(5) 21 年度のシンポジウムは平成 21 年 10 月 4 日（日）品川コクヨホールで開催することが決定し、講演内容はホームページに掲載済である。

また、研修セミナーについても平成 22 年 3 月 7 日（日）品川コクヨホールで開催することが決定した。

## 6. 広報委員会

（平成 20 年度 3 回開催）

(1) 日本透析医会雑誌の企画・編集等について、討議された。

(2) 医会雑誌 Vol. 23 No. 1 発刊

- 1) 日本透析医会事業のまとめと将来展望
- 2) 我が国における慢性腎臓病（CKD）対策について
- 3) 過去の透析医療紛争の事案分析等を踏まえた今後の対応策について
- 4) 透析患者の終末期ケア—現状と将来への課題—
- 5) ジェネリック医薬品の新たなステージを迎えて
- 6) 第 11 回透析医療費実態調査報告
- 7) 日本透析医学会ガイドライン発表後の Ca, P, PTH 管理状況
- 8) 平成 18 年度千葉県における透析医療機関の感染性廃棄物の現状に関するアンケート調査（第 6 報）
- 9) 透析室における地震災害対策—新潟県中越沖地震を被災して—
- 10) 腹膜機能の長期的維持に対する施策
- 11) 至適ドライウエイトの設定と維持
- 12) 運動後急性腎不全（ALPE）
- 13) 透析患者における血管石灰化の臨床
- 14) DW 設定における多周波インピーダンス分析装置（In-Body 3.2）の有用性
- 15) 高齢透析患者（認知症患者）に対する看護のかかわり
- 16) 透析膜の酸化ストレスマーカーと NK 細胞活性に及ぼす影響
- 17) 透析医療の質を向上させる七つの C—HDF からケアまで—
- 18) 透析医のひとりごと：「医療崩壊」と透析医療〈岩手県〉  
透析開業医として思うこと〈和歌山県〉
- 19) 支部だより〈佐賀県・石川県〉

(3) 医会雑誌 Vol. 23 No. 2 発刊

- 1) ACDK の実態
- 2) 透析アミロイドシスの整形外科的治療
- 3) 維持透析患者の合併症に対する漢方薬の応用
- 4) 腎性貧血治療の目標ヘモグロビン値
- 5) 後期高齢者医療制度の諸問題と透析医療
- 6) 平成 20 年度透析関連診療報酬改定について
- 7) DPC 制度における透析医療の評価

- 8) CAPD 離脱症例の予後について
- 9) 災害時透析医療における情報伝達の現況—2007年アンケート調査より—
- 10) 腎不全患者のスターフルーツ中毒症に対する注意
- 11) 酢酸フリー透析剤の臨床効果
- 12) calcium 受容体制御薬（レグバラ®）の臨床効果と問題点
- 13) 透析患者における薬剤の適正使用
- 14) CKD-MBD 治療の今後
- 15) 日本透析医会通常総会資料および主な決定事項
- 16) 透析医のひとりごと：一地方病院の悩み〈三重県〉  
最近思うこと〈奈良県〉
- 17) 支部だより〈山形県・山梨県・島根県〉

(4) 医会雑誌 Vol. 23 No. 2 別冊発刊

- 1) 厚生労働科学研究費補助金（医薬安全・医療技術評価総合研究事業）  
平成 19 年度「透析施設におけるブラッドアクセス関連事故防止に関する研究」  
[総括研究報告書]  
平成 17-19 年度「透析施設におけるブラッドアクセス関連事故防止に関する研究」  
[総合研究報告書]
- 2) 日本財団助成事業  
平成 19 年度「災害時医療支援船の実現化に向けた調査・運用訓練の実施」  
透析医療における災害時情報伝達の現況についてのアンケート調査（2007 年）報告  
災害時医療支援船事業報告・講演会  
平成 17-19 年度「災害時医療支援船の実現化に向けた調査・運用訓練の実施」  
災害時医療支援船事業 報告記録集（2005～2007）

(5) 医会雑誌 Vol. 23 No. 3 発刊

- 1) 透析患者の栄養障害
- 2) 透析患者の運動療法—血液透析中の下肢運動—
- 3) 第 13 回透析保険審査委員懇談会について
- 4) 慢性腎不全対策と医療費問題
- 5) 入院透析患者へのリハビリテーション
- 6) 各地域における「災害時人工透析提供体制」の確立—福岡県の取り組みを中心として—
- 7) 第 9 回災害時情報ネットワーク会議および情報伝達訓練実施報告
- 8) 新型インフルエンザ対策—感染症指定医療機関として—
- 9) 医療施設内感染対策—infection control team の役割—
- 10) 透析医療における安全管理
- 11) 透析医療におけるアイソトープ診断と治療
- 12) CKD-MBD という新しい概念の紹介
- 13) 透析患者における脂質代謝異常
- 14) EBM に基づく下肢抹消動脈疾患の治療戦略
- 15) 看護師がフットケアを行うための基盤づくり—psycho-podiatry（精神足病学）という視点を含め—
- 16) 薬剤溶出ステントの現況

- 17) 愛知県透析審査会報告
- 18) 臨床工学技士の役割と課題
- 19) 平成 20 年度診療報酬改定と今後の透析医療
- 20) 災害時の透析医療ネットワークとその活動報告
- 21) 透析医療の災害対策
- 22) 維持透析患者に対する鍼治療の実際—皮膚刺激による鍼治療—
- 23) 「わが国の慢性透析療法の現況」報告のコンピュータ解析における有用性と限界
- 24) 透析医療に対する医師と患者の意識の差異と相互理解の推進
- 25) わが国の慢性血液透析患者の高血圧コントロール状況と生命予後に及ぼす影響
- 26) 非糖尿病維持血液透析患者における血清グレリンと栄養状態との相関について
- 27) 透析液清浄化の指標となる従属栄養菌培養方法の精度管理および測定結果に対する警戒基準・処置基準設定のためのジェネラルコンセンサスの形成
- 28) 腎保護療法のデータベース作成における基盤整備に関する研究
- 29) 慢性透析患者の動脈硬化性病変の進展に関与する要因について
- 30) 血液透析症例の体水分分布に関する研究
- 31) 透析歴 30 年以上の超長期血液透析患者における骨関節合併症の調査
- 32) 透析医のひとりごと：第 1 世代透析医の考えること〈北海道〉  
30 年透析の時代〈兵庫県〉  
CKD って？〈京都府〉
- 33) 支部だより〈長崎県・愛知県・福岡県〉

## 7. 学会等助成審査委員会

(平成 20 年度 3 回開催)

以下のとおり学会及び調査研究について申請を受け、審査した。

学 会 等	開 催 日
第 20 回日本サイコネフロロジー研究会	平成 21 年 6 月 20 日～21 日
第 55 回日本透析医学会学術集会・総会	平成 22 年 6 月 18 日～20 日
第 30 回日本アフェレシス学会	平成 21 年 9 月 10 日～12 日
第 15 回日本腹膜透析研究会総会・学術集会	平成 21 年 11 月 28 日～29 日
第 42 回九州人工透析研究会総会	平成 21 年 11 月 29 日
第 13 回日本アクセス研究会学術集会・総会	平成 21 年 9 月 26 日

研究課題	研究目的等
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 沖縄県内における透析施設の変遷：民間クリニックの現状と将来・腎保護療法のデータベース作成における基盤整備に関する研究（その 2）・高齢者維持透析の問題点の解明に関する研究・血液透析回路と血小板活性の検討～ドリップチャンバの標準化に向けて</li> <li>• 療養生活における透析患者と家族の意見の対立と調整</li> <li>• 最適な透析液清浄化法の選択を目標とした透析液中に棲息する菌の基礎的検討</li> </ul>	公募助成

## 8. 学会等研究助成交付審査委員会

(平成 20 年度, FAX による審査 3 回)

以下のとおり学会及び調査研究について審査した。

学 会 等	開 催 日
第 20 回日本サイコネフロロジー研究会	平成 21 年 6 月 20 日～21 日
第 55 回日本透析医学会学術集会・総会	平成 22 年 6 月 18 日～20 日
第 30 回日本アフェレシス学会	平成 21 年 9 月 10 日～12 日
第 15 回日本腹膜透析研究会総会・学術集会	平成 21 年 11 月 28 日～29 日
第 42 回九州人工透析研究会総会	平成 21 年 11 月 29 日
第 13 回日本アクセス研究会学術集会・総会	平成 21 年 9 月 26 日

研究課題	研究目的等
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 沖縄県内における透析施設の変遷：民間クリニックの現状と将来・腎保護療法のデータベース作成における基盤整備に関する研究（その2）・高齢者維持透析の問題点の解明に関する研究・血液透析回路と血小板活性の検討～ドリップチャンバの標準化に向けて</li> <li>• 療養生活における透析患者と家族の意見の対立と調整</li> <li>• 最適な透析液清浄化法の選択を目標とした透析液中に棲息する菌の基礎的検討</li> </ul>	公募助成

## 平成 20 年度財務諸表

## 1. 貸借対照表（平成 21 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現預金			
現金	6,328	32,633	- 26,305
ゆうちょ銀行	2,521,039	52,239	2,468,800
りそな銀行 1437642	640	0	640
りそな銀行 1458648	3,247	0	3,247
りそな銀行 1455768	3,496,576	3,490,664	5,912
りそな銀行 1541906(9月8日開設)	938		938
りそな銀行 0984222	1,063,353	1,134,955	- 71,602
りそな銀行 0960156	4,386	0	4,386
りそな銀行 1543688(10月30日開設)	175		175
りそな銀行 1437634(9月16日解約)		1,302,201	- 1,302,201
りそな銀行 1441461(9月16日解約)		511,707	- 511,707
みずほ銀行	164,279	642,717	- 478,438
三井住友銀行	163,932	753,256	- 589,324
三菱東京 UFJ 銀行	894,740	2,073,198	- 1,178,458
三菱東京 UFJ 銀行定期預金	68,955,768	49,071,688	19,884,080
現預金合計	77,275,401	59,065,258	18,210,143
(2) その他流動資産			
仮払金	125,000	66,700	58,300
その他流動資産合計	125,000	66,700	58,300
流動資産合計	77,400,401	59,131,958	18,268,443
2. 固定資産			
(1) 基金			
研究助成事業基金普通預金	162,004,889	162,004,889	0
基金合計	162,004,889	162,004,889	0
(2) その他固定資産			
電話加入権	563,372	563,372	0
淡路建物ビル保証金	6,300,000	6,300,000	0
警備保証金	50,000	50,000	0
退職給付引当預金	6,136,958	5,538,725	598,233
その他固定資産合計	13,050,330	12,452,097	598,233
固定資産合計	175,055,219	174,456,986	598,233
資産合計	252,455,620	233,588,944	18,866,676
II 負債の部			
1. 流動負債			
会費預り金	150,000	160,000	- 10,000
所得税預り金	319,990	323,405	- 3,415
健康保険預り金	61,576	58,224	3,352
厚生年金預り金	99,008	96,725	2,283
流動負債合計	630,574	638,354	- 7,780
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,136,958	5,538,725	598,233
固定負債合計	6,136,958	5,538,725	598,233
負債合計	6,767,532	6,177,079	590,453
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	245,688,088	227,411,865	18,276,223
正味財産合計	245,688,088	227,411,865	18,276,223
負債及び正味財産合計	252,455,620	233,588,944	18,866,676

## 2. 正味財産増減計算書（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

(単位：円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	330,000	390,000	- 60,000
受取入会金計	330,000	390,000	- 60,000
② 受取会費			
受取会費	88,580,000	89,870,000	- 1,290,000
受取会費計	88,580,000	89,870,000	- 1,290,000
③ 受取寄付金			
受取学会寄付金	53,686,000	77,230,000	- 23,544,000
受取助成金	0	18,900,000	- 18,900,000
受取参加費	241,000	173,000	68,000
受取寄付金計	53,927,000	96,303,000	- 42,376,000
④ 雑収益			
受取利息	144,538	214,363	- 69,825
雑収入	0	969,000	- 969,000
雑収益計	144,538	1,183,363	- 1,038,825
経常収益計	142,981,538	187,746,363	- 44,764,825
(2) 経常費用			
① 事業費			
適正透析導入部会	646,395	581,714	64,681
適正透析普及部会	759,972	879,967	- 119,995
適正医療経済部会	8,569,185	6,951,471	1,617,714
医療廃棄物対策部会	259,489	254,525	4,964
災害時透析医療対策部会	3,617,281	2,693,433	923,848
感染対策部会	1,768,437	1,033,900	734,537
医療事故対策部会	504,556	434,703	69,853
合併症対策委員会	3,319,273	3,087,491	231,782
腎移植普及推進委員会	6,593,216	5,933,466	659,750
腎不全予防医学調査研究委員会	0	7,654,831	- 7,654,831
研修委員会	8,764,802	17,384,750	- 8,619,948
広報委員会	17,474,863	13,067,136	4,407,727
学会・研究助成審査委員会	50,025,697	82,114,521	- 32,088,824
日本財団事業	408,521	31,412,465	- 31,003,944
事業費計	102,711,687	173,484,373	- 70,772,686
② 管理費			
給与	10,425,925	10,460,423	- 34,498
賃金	1,355,000	1,415,000	- 60,000
法定福利費	1,351,081	1,355,410	- 4,329
通勤費	431,850	215,910	215,940
旅費交通費	373,230	311,377	61,853
会議費	12,000		12,000
福利厚生費	52,891	54,235	- 1,344
印刷製本費	90,588	180,416	- 89,828
通信運搬費	334,027	468,048	- 134,021
事務・消耗品費	923,956	1,049,940	- 125,984
委託費	932,115	932,115	0

(単位：円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
報酬	627,777	627,777	0
水道光熱費	173,621	172,009	1,612
家賃	2,333,076	2,493,978	- 160,902
諸会費	138,267	132,400	5,867
租税公課	0	3,000	- 3,000
慶弔費	0	21,000	- 21,000
雑費	212,851	277,925	- 65,074
常任理事会費	250,880	297,640	- 46,760
総会・理事会費	934,210	1,144,694	- 210,484
ホームページ管理費	442,050	866,250	- 424,200
退職給付費用	598,233	615,437	- 17,204
管理費計	21,993,628	23,094,984	- 1,101,356
経常費用計	124,705,315	196,579,357	- 71,874,042
当期経常増減額	18,276,223	- 8,832,994	27,109,217
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	18,276,223	- 8,832,994	27,109,217
一般正味財産期首残高	227,411,865	236,244,859	- 8,832,994
一般正味財産期末残高	245,688,088	227,411,865	18,276,223
Ⅱ 正味財産期末残高	245,688,088	227,411,865	18,276,223

## 3. 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

## (1) 退職給付引当金の計上基準

期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上することとしている。

## (2) リース引き取りの処理

リース契約により使用している重要な固定資産としては、コピー機、コンピューター、コンピューター関連ネットワーク機器等があります。

## 2. 固定資産の増減額及びその残高

研究助成事業基金普通預金及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
研究助成事業基金普通預金	162,004,889	0	0	162,004,889
小 計	162,004,889	0	0	162,004,889
その他固定資産				
電話加入権	563,372	0	0	563,372
淡路建物ビル保証金	6,300,000	0	0	6,300,000
警備保証金	50,000	0	0	50,000
退職給付引当金	5,538,725	598,233	0	6,136,958
小 計	12,452,097	598,233	0	13,050,330
合 計	174,456,986	598,233	0	175,055,219

## 3. 固定資産の財源等の内訳

基金及びその他の固定資産の財源などの内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基金				
研究助成事業基金普通預金	162,004,889			—
小 計	162,004,889	(0)	(0)	—
その他の固定資産				
電話加入権	563,372			
淡路建物ビル保証金	6,300,000			
警備保証金	50,000			
退職給付引当預金	6,136,958			(6,136,958)
小 計	13,050,330	(0)	(0)	(6,136,958)
合 計	175,055,219	(0)	(0)	(6,136,958)

## 4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
研修会・講演会補助金						
北海道透析医会	大平 整爾				100,000	学会・研究助成審査委員会
青森県透析医会	鈴木 唯司				100,000	学会・研究助成審査委員会
宮城県透析医会	関野 宏				100,000	学会・研究助成審査委員会
福島県支部	熊谷郁太郎				100,000	学会・研究助成審査委員会
愛知県透析医会	渡邊 有三				100,000	学会・研究助成審査委員会
大阪透析医会	小野 秀太				100,000	学会・研究助成審査委員会
鹿児島県透析医会	前田 忠				100,000	学会・研究助成審査委員会
学術研究助成金						
広島県透析連絡協議会	土谷晋一郎				1,000,000	学会・研究助成審査委員会
研究会・公募助成						
第19回日本サイコネフロジー研究会	政金 生人				3,350,000	学会・研究助成審査委員会
第53回日本透析医学会総会	水口 潤				6,190,000	学会・研究助成審査委員会
第12回アクセス研究会	政金 生人				5,070,000	学会・研究助成審査委員会
第14回日本腹膜透析研究会	星井 桜子				2,100,000	学会・研究助成審査委員会
第54回日本透析医学会総会	佐中 孜				13,346,000	学会・研究助成審査委員会
第20回日本サイコネフロジー研究会	大平 整爾				1,740,000	学会・研究助成審査委員会
長期透析患者に合併する破壊性脊椎関節症の発生病理に関する研究	宮崎 滋				▲2,000,000	学会・研究助成審査委員会
沖縄県における透析施設の変遷：民間クリニックの現状と将来	井関 邦敏				500,000	学会・研究助成審査委員会
腎保護療法へのデータベース作成における基盤整備に関する研究（その2）	前田 憲志				2,000,000	学会・研究助成審査委員会
高齢者維持透析の問題点の解明に関する研究	阿岸 鉄三				500,000	学会・研究助成審査委員会
血液透析回路と血小板活性の検討～ドリップチャンバの標準化に向けて	今田 崇裕				800,000	学会・研究助成審査委員会
療養生活における透析患者と家族の意見の対立と調整	杉澤 秀博				2,000,000	学会・研究助成審査委員会
最適な透析液清浄化法の選択を目標とした透析液中に棲息する菌の基礎的検討	大藪 英一				1,400,000	学会・研究助成審査委員会
災害医療支援船の実現に向けた調査・運用訓練の実施	杉崎 弘章				316,000	日本財団事業
合 計		0	0	0	39,012,000	

## 4. 財産目録（平成 21 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

勘定科目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現預金		
現金	6,328	
ゆうちょ銀行	2,521,039	
りそな銀行 1437642	640	
りそな銀行 1458648	3,247	
りそな銀行 1455768	3,496,576	
りそな銀行 1541906	938	
りそな銀行 0984222	1,063,353	
りそな銀行 0960156	4,386	
りそな銀行 1543688	175	
みずほ銀行	164,279	
三井住友銀行	163,932	
三菱東京 UFJ 銀行	894,740	
三菱東京 UFJ 銀行定期預金	68,955,768	
現預金合計	77,275,401	
(2) その他流動資産		
仮払金	125,000	
その他流動資産合計	125,000	
流動資産合計		77,400,401
2. 固定資産		
(1) 基金		
研究助成事業基金普通預金	162,004,889	
基金合計	162,004,889	
(2) その他の固定資産		
電話加入権	563,372	
淡路建物ビル保証金	6,300,000	
警備保証金	50,000	
退職給付引当預金	6,136,958	
その他固定資産合計	13,050,330	
固定資産合計		175,055,219
資産合計		252,455,620
II 負債の部		
1. 流動負債		
会費預り金	150,000	
所得税預り金	319,990	
健康保険預り金	61,576	
厚生年金預り金	99,008	
流動負債合計		630,574
2. 固定負債		
退職給付引当金	6,136,958	
固定負債合計		6,136,958
負債合計		6,767,532
正味財産		245,688,088

## 5. 管理費内訳（平成 21 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

	平成 20 年度 決算額	按分率	按 分	
			管理費	事業費
給 料	20,851,851	50%	10,425,925	10,425,926
賃 金	2,710,000	50%	1,355,000	1,355,000
法定福利費	2,702,163	50%	1,351,081	1,351,082
通 勤 費	863,700	50%	431,850	431,850
旅費交通費	746,460	50%	373,230	373,230
会 議 費	12,000		12,000	0
福利厚生費	105,783	50%	52,891	52,892
印刷製本費	181,177	50%	90,588	90,589
通信運搬費	668,055	50%	334,027	334,028
事務・消耗品費	1,847,913	50%	923,956	923,957
委 託 費	1,864,230	50%	932,115	932,115
報酬（要源泉）	1,255,555	50%	627,777	627,778
水道光熱費	347,243	50%	173,621	173,622
家 賃	4,666,152	50%	2,333,076	2,333,076
諸 会 費	276,535	50%	138,267	138,268
雑 費	425,702	50%	212,851	212,851
常任理事会費	3,314,462		250,880	3,063,582
総会・理事会費	934,210		934,210	0
ホームページ管理料	884,100	50%	442,050	442,050
退職給付費用	598,233		598,233	0
合 計	45,255,524		21,993,628	23,261,896


## 監査報告書

社団法人日本透析医会の平成 20 年度決算報告につき慎重に監査した結果  
妥当なものと認めます。

平成 21 年 4 月 17 日

社団法人 日本透析医会

監事

今 忠正 

監事

伊原 美好 

社団法人 日本透析医会  
会 長 山崎 親雄 殿

## 第2号議案

## 平成21年度事業計画書（案）

## 事業計画の概要

## 1. 透析医療の適正化に関する調査研究事業

適正な透析療法の検討に関する調査・研究

**適正透析療法委員会** [委員会のもとに7部会を置く]

透析療法の質的向上と普遍化を目的とする調査・研究

## (1) 適正透析導入部会

適正な導入時期に関する調査・研究

## (2) 維持透析療法部会

適正な維持透析療法に関する調査・研究

## (3) 適正透析普及部会

適正な透析療法の普及推進を行う

## (4) 適正医療経済部会

適正な透析医療経済に関する調査・研究

## 1) レセプト分析

## 2) 施設機能評価の調査・研究

## (5) 医療廃棄物対策部会

医療廃棄物対策に関する調査・研究

## (6) 在宅血液透析部会

在宅治療（CAPD・在宅血液透析等）の適応基準の調査・研究

## (7) 医療制度検討部会

医療制度における透析医療との関連に関する調査・研究

## 2. 地域医療システムに関する調査研究事業

透析施設間の相互連携による地域透析医療システムを確立するための調査・研究

## (1) 危機及び災害時における救急透析医療システムの作成に関する調査・研究

**医療安全対策委員会** [委員会のもとに3部会を置く]

## 1) 災害時透析医療対策部会

① 平成17年度に、昨年度まで運営してきた「危機管理メーリングリスト」を終了して、医会会員とその所属する施設で災害対策に関わっている者が参加する「災害情報ネットワークメーリングリスト」と、関係団体の災害対策担当者、および行政関係の担当者をメンバーとする「透析医療災害対策メーリングリスト」を開設した。

② 平成20年度では、携帯電話による災害時情報の収集が可能となるシステムを構築した。

③ 平成21年度は、引き続きブロック別災害時救急透析医療システムの構築を図るとともに災害時情報ネットワークへの参加を推進していく。

## 2) 感染対策部会

院内感染実態調査及び感染防止対策の調査・研究

## 3) 医療事故対策部会

医療事故実態調査及び事故防止対策の調査・研究

(2) 長期透析患者の合併症に対する調査・研究

合併症対策委員会

- 1) 透析導入の初発原因（原疾患・病因等）に関する調査・研究
- 2) 患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究
- 3) 患者の長期生存に伴い発生する合併症及びその原因に対する調査・研究

3. 国等公的機関の実施する透析医療科学研究推進事業

厚生科学研究推進委員会 [委員会のもとに1部会を置く]  
透析医療IT化推進部会

4. 学術調査研究会等特定公益増進法人助成推進事業

学会等研究助成審査委員会（助成先の適合審査の実施）

学会等研究助成交付審査委員会（助成金の交付審査の実施）

平成20年度は、公募による研究助成6件を含む11件の助成推進事業を実施した。引き続き、特定公益増進法人として助成推進事業の充実、拡大を図っていく。

5. 腎移植普及推進に関する事業

腎移植普及推進委員会

会員及び患者に対しての協力・普及を目的とする。

- (1) 臓器移植推進月間・腎バンク及び地方腎移植推進システムへの協力
- (2) 会員に対する腎移植の啓発・教育  
(脳死問題を含む講演会及び腎移植広報活動等)
- (3) 患者に対する腎移植推進  
(会員の日常業務として、地区患者を対象とする推進協力)
- (4) 関係団体への協力事業  
(医療施設や遺族に対するドネーションの啓発)
- (5) 腎移植コーディネーター問題の研究

6. 腎不全予防医学の調査研究事業

腎不全予防医学調査研究委員会

透析導入を予防し、残腎機能を維持させるための調査・研究

透析導入前の慢性腎不全患者に対する保存的維持療法の調査・研究及び関係団体への協力について推進する。

7. 研修等事業

研修委員会

- (1) 腎不全臨床医療スタッフの研修会（シンポジウム、セミナー）の開催
- (2) 学術研究への協力
- (3) 関係学会・団体との研究協力
- (4) 国内講演会等の開催

## 8. 広報活動及び刊行物の発行に関する事業

## 広報委員会

機関誌等の発行

- (1) 医会雑誌（年3回発行）  
内容充実に一層の努力をする。
- (2) 医会ニュース・速報等  
必要の都度，発行する。

## 9. 会員の教育・研修及び倫理向上に関する調査研究事業

## 倫理委員会

会員の倫理向上に関する調査・研究

## 10. 情報の公開等適正管理及び情報管理に関する事業

## 情報管理委員会

本会が保有する文書，図画，図面及び電磁的記録等の情報公開の管理，適正保管及びその創意工夫等の調査研究

- ・18年度より，新情報をいち早く知って頂くために希望する会員への同報メールシステムを開始した。引き続き既存ホームページの内容の充実と関係団体への情報提供の拡大を図る。

## 平成 21 年度予算 (案)

## 1. 収支予算書 (案) (平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで)

(単位:円)

勘定科目	平成 21 年予算額 (案)	平成 20 年予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 入金収入			
入金収入	510,000	510,000	0
入金収入計	510,000	510,000	0
(2) 会費収入			
会費収入	91,000,000	91,000,000	0
会費収入計	91,000,000	91,000,000	0
(3) 寄付金収入			
学会寄付金収入	140,000,000	109,990,000	30,010,000
参加費収入	440,000	440,000	0
寄付金収入計	140,440,000	110,430,000	30,010,000
(4) 雑収入			
受取利息	150,000	180,000	-30,000
雑収入計	150,000	180,000	-30,000
事業活動収入計	232,100,000	202,120,000	29,980,000
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出			
透析透析導入部会	568,000	576,000	-8,000
維持透析療法部会	1,965,000	691,000	1,274,000
適正透析普及部会	1,306,000	1,325,000	-19,000
適正医療経済部会	9,600,000	9,161,000	439,000
医療廃棄物対策部会	1,102,000	1,118,000	-16,000
在宅血液透析部会	489,000	496,000	-7,000
医療制度検討部会	204,000	207,000	-3,000
災害時透析医療対策部会	9,282,000	4,845,000	4,437,000
感染対策部会	1,375,000	1,394,000	-19,000
医療事故対策部会	523,000	1,510,000	-987,000
合併症対策委員会	3,465,000	3,515,000	-50,000
腎移植普及推進委員会	6,135,000	6,223,000	-88,000
腎不全予防医学調査研究委員会	123,000	125,000	-2,000
研修委員会	10,679,000	10,625,000	54,000
広報委員会	18,734,000	16,986,000	1,748,000
倫理委員会	180,000	180,000	0
学会・研究助成審査委員会	138,034,000	127,337,000	10,697,000
学会・研究助成交付審査委員会	286,000	290,000	-4,000
経営実態調査	5,680,000	0	5,680,000
事業費支出計	209,730,000	186,604,000	23,126,000
(2) 管理費支出			
給与	10,500,000	10,475,000	25,000
賃金	1,500,000	1,500,000	0
法定福利費	1,450,000	1,450,000	0
通勤費	750,000	220,000	530,000
旅費交通費	300,000	300,000	0
会議費	100,000	100,000	0

(単位：円)

勘定科目	平成 21 年予算額 (案)	平成 20 年予算額	増 減
福利厚生費	75,000	75,000	0
印刷製本費	650,000	200,000	450,000
通信運搬費	400,000	600,000	- 200,000
事務・消耗品費	1,100,000	1,100,000	0
委託費	950,000	950,000	0
報酬 (要源泉)	650,000	650,000	0
水道光熱費	175,000	175,000	0
家賃	2,500,000	2,350,000	150,000
諸会費	150,000	150,000	0
租税公課	5,000	5,000	0
慶弔費	50,000	50,000	0
雑費	250,000	255,000	- 5,000
常任理事会費	300,000	300,000	0
総会・理事会費	1,200,000	1,200,000	0
ホームページ管理料	500,000	1,000,000	- 500,000
管理費支出計	23,555,000	23,105,000	450,000
事業活動支出計	233,285,000	209,709,000	23,576,000
事業活動収支差額	- 1,185,000	- 7,589,000	6,404,000
II 投資活動収支の部			
(1) 特定活動支出			
退職給付引当資産取得支出	543,585	598,000	- 54,415
特定活動支出計	543,585	598,000	- 54,415
III 予備費支出	2,000,000	2,000,000	0
当期収支差額	- 3,728,585	- 10,187,000	6,458,415
前期繰越収支差額	5,181,000	15,368,000	- 10,187,000
次期繰越収支差額	1,452,415	5,181,000	- 3,728,585

## 2. 管理費内訳

(単位：円)

	平成 21 年度 (案)	按分率	按 分	
			管理費	事業費
人 件 費	28,400,000	50%	14,200,000	14,200,000
給 料	21,000,000	50%	10,500,000	10,500,000
賃 金	3,000,000	50%	1,500,000	1,500,000
法定福利費	2,900,000	50%	1,450,000	1,450,000
通 勤 費	1,500,000	50%	750,000	750,000
家 賃	5,000,000	50%	2,500,000	2,500,000
その他経費	15,255,000	50%	6,855,000	8,400,000
旅費交通費	600,000	50%	300,000	300,000
会 議 費	100,000		100,000	0
福利厚生費	150,000	50%	75,000	75,000
印刷製本費	1,300,000	50%	650,000	650,000
通信運搬費	800,000	50%	400,000	400,000
事務・消耗品費	2,200,000	50%	1,100,000	1,100,000
委 託 費	1,900,000	50%	950,000	950,000
報酬(要源泉)	1,300,000	50%	650,000	650,000
水道光熱費	350,000	50%	175,000	175,000
諸 会 費	300,000	50%	150,000	150,000
租税公課	5,000		5,000	0
慶 弔 費	50,000		50,000	0
雑 費	500,000	50%	250,000	250,000
常任理事会費	3,500,000		300,000	3,200,000
総会・理事会費	1,200,000		1,200,000	0
ホームページ管理料	1,000,000	50%	500,000	500,000
管理費計	48,655,000		23,555,000	25,100,000

## 平成 21 年度 通常総会報告

### 山崎親雄会長挨拶

本日は、雨の中ご出席いただきましてありがとうございます。理事の皆様方には、引き続き総会のほうへご出席をいただきありがとうございます。

昨年、平成 20 年度を振り返ってみますと、最初の 4 月の段階でヘパリンの自主回収という問題がございました。私の施設でも供給が止まってしまうということで、低分子ヘパリンへ替える準備をしました。しかしながら、その後自主回収製品といえども新しいものが出てくるまでは使ってもよしということになったものですから、何のことはない、低分子ヘパリンが多量に余ってしまい、その消費に時間を要しました。

次に、一昨年の夏から秋にかけては、診療報酬改定の問題がありました。特に透析時間に関してですが、中医協の基本問題小委員会の中で検討が行われ、9 月に提出されたと思います。10、11、12 月とペンディングになりました。そのとき日本透析医会の前専務理事の鈴木満先生が、日本医師会の担当、そして中医協の担当だったものですから、「何とか透析時間区分の復活について検討してください」と言っていました。最終的には 1 月でしたか、中医協の中でも認められ、4 月の改定で時間区分が復活いたしました。その前の改定の「エリスロポエチンの包括」により、いったい透析医会はどうなってしまうんだというような批判をたくさんいただきましたが、この時間区分の問題に関しましては、会員の皆様から評価していただきました。実際に、その後行われました全腎協の調査では、約 10% の方が、透析時間が延長されているという結果で、これは大変喜ばしいことと考えております。というようなことで 1 年が過ぎてまいりました。幸いなことに、大きな地震であるとかそういう自然災害もなく、大過なく過ぎたかなというふうに思っております。

しかしながら、最近では透析を取り巻く環境が大きく変化しようとしています。透析医療機関が、例えば公的病院が医師の派遣をしてもらえなくて、透析室が閉鎖になるということがあります。これは愛知県でもそういう経験をしていますし他の都道府県でも出てきていると思います。それから民間の透析医療機関の後継者がいなくて廃業されるということもございます。記憶に新しいのは、昨年の 3 月に行われた日本透析医会のコンセンサスカンファレンスの席上で、北海道の渡井先生という、最初からの日本透析医会の会員の先生で、開業してからも英語論文なども発表されていた尊敬する先生ですが、後継者がいないということで廃業するということを申されました。本当は、息子さんもお医者さんなのですが、移植をやりたいということで、お父さんのやっている透析を継がないということで、後継者が途切れてしまって、「これをもちまして透析医療機関を廃業します」という宣言をその会場でされたのを今でも覚えております。

さらに、都市部では「送迎の問題」であるとか、地方へいくと「通院できない患者さんの入院の問題」だとか、いろいろの問題が山積しております。今までの問題は問題としまして、これからもそういった問題に当たっていかねばならないと考えておりますので、ぜひともご協力をお願い申し上げて、私のご挨拶に代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

### 議長選出

吉田豊彦 副会長 を選出

### 議事録署名人選出

鈴木正司 常務理事

隈 博政 常務理事 を選出

## 議 事

- 第1号議案 平成20年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件
- 第2号議案 平成20年度事業計画及び予算の承認を求める件
- 第3号議案 役員の任期満了に伴う新役員の承認を求める件
- 第4号議案 その他

以上について審議し承認されました。

総会での質疑応答に関して次のように「Q & A」方式でまとめました。

### 総会の質疑応答

Q：研究補助金、研究助成金の件ですが、透析にかかわっている看護師ないし臨床工学技士が主体となって実施する研究で、その申請者はその担当者であってもよろしいかどうか、教えてください。

A：研究助成（公募助成）の目的は、「適正な人工透析療法の普及、技術の向上及び関係者の教育研修を行うとともに、腎不全対策の推進のための事業を行っており、これ等により国民の保健・福祉の向上に寄与することを目的とし、この目的に適うものと期待される腎臓病研究者並びに腎不全医療従事者の研究に助成する。」としています。よって医師・日本透析医会会員でなくてはならないということではなく、コメディカルスタッフが研究申請をしていただいても、学会・研究助成審査委員会および学会・研究助成交付審査委員会で審議し、妥当と認めれば助成いたします。

例えば、桜美林大学の杉澤先生が申請された「療養生活における透析患者と家族の意見の対立と調整」という新しい視点からの研究ですが、杉澤先生はお医者さんではありません。しかし、透析医療を行うにあたり、大変重要な問題であるということで研究助成をさせていただいております。ですから、コメディカルスタッフの研究でも申請形式を整えて、日本透析医会へ申請いただければ助成を考えさせていただきます。ただ、基本的に発表に関しましては、日本透析医会雑誌への掲載を第一にさせていただくことと、それから日本透析医会の助成であることを掲載していただければ結構です。

Q：いくつかの研究会・学会に補助金が出ていますが、毎年こういった特定の研究会に、例年のように決まって補助金が出るようなことはないのでしょうか、教えてください。

A：研究会・学会への助成に関しては、今のところ申請に従って実施していますので、決して固定された特定の研究会・学会に助成しているわけではございません。例えば、今年行われます佐中先生の第54回日本透析医学会に助成をさせていただいておりますが、日本透析医会に申請がない年もございます。

### 山崎親雄会長 今期の所信表明

いままでずっと積み重ねてきました医会の仕事の中で、特に今年度、来年度の2年にわたりましてぜひやっておきたいという事業がいくつかございます。その点についてご説明申し上げると同時に、ご協力をいただきたいと思います。

まず一番目は、今年度の末に行われます診療報酬改定についての対応を考えなければなりません。日本医師会の常務理事を務めておられます三上先生、彼がご自分の施設で透析を実施され透析については大変詳しい先生ですが、その三上先生と厚生労働省保険局医療課に、4月の時点で今年度の診療報酬改定に対して、まだ正式ではありませんが要望書を届けてまいりました。今後も機会があるたびに出かけていって、最終的にはこの10月、あるいは11月に、正式な要望書として厚労省へ提出すると同時に、日本医師会へご協力を仰ぎたいと考えております。

会員の皆様からの要望をいただくことに関しては、今実施されていると思いますが、6月の日本透析医学会と

同時に開催されます支部長会議および保険審査懇談会のアンケート調査の中で、改定の要望事項に関して集計が進んでおります。それを基に、改定の要望をしていきたいと考えております。あわせて、慢性透析患者外来管理料の基本になっております保険診療マニュアルが、平成10年に改訂されたままとなっております。これは慢透の基本資料になっておまして、これをもとに検査の包括点数が設定されております。もう古くなったものから見直しをしたいと考えておまして今年度の一つの事業かなと思っております。

二つ目は、透析提供体制に関する問題、最初のご挨拶でも申し上げましたように、本当に透析医療体制が崩壊し始めているように思います。全腎協でも近い将来透析難民がでるのではないかという危惧を持っておられます。実際に福井県の地方紙ですが、透析難民という言葉が使われて新聞報道が行われました。皆さんの周りでも透析患者さんの受け入れが難しくなっている施設があるのではないのでしょうか。特に透析難民発生といわれる状況の中では、最終的に動けなくなった患者さんの収容施設や、なくなっていく場所などについても大きな問題になりますし、後継者の問題とか医師派遣の問題で、透析施設そのものを廃院しなければならないという問題もあります。そういった透析提供体制に関しまして、具体的な提案ができるような、いわゆる日医が実施しておりますグランドデザインと呼ばれるようなものを、日本透析医学会が透析に関して作成すべきだというふうにご検討しております。今準備に取り掛かったところです。

三つ目は、法人の見直しの問題です。これは透析医学会だけの問題でなくて皆さんもいろいろなところで関与されておられると思います。日本透析医学会は今回の法人制度改革で「公益法人」の適用を受けるべく準備を進めております。今年度中に新しい公益法人の適用の目途を立てたいというふうに事務方とも一緒に考えておまして、定款などの見直しを行っているところです。

そして最後に、本日の総会の説明にもありましたが、「同報メール」についてご協力をお願いしたいと考えております。これは透析医学会の会員の中で、ご希望される会員のメールアドレスへ、速く非常にホットな情報をお送りするシステムでございます。一番新しいものは新型インフルエンザの情報を出しました。その前は情報の提供というよりも情報の収集に使わせていただきました。先日、厚労省から透析医学会に、HIV患者さんの透析に関する要望があるからというような話がありまして、実際にHIV患者の透析に関する実態調査をさせていただきました。今後、このようにこの「同報メール」でリアルタイムな情報の提供と収集を行いたいと考えております。

また、今まで毎年レセプト調査を6月に紙ベースで定点観測しておりましたが、もっとほかの情報についても、このような「同報メール」を用いた情報収集システムを構築したいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

以上、四つの問題に関して、これからの2年間にぜひ目途を立てていきたいと考えております。ご協力をお願いするということで、新しい役員を代表いたしましてご挨拶をさせていただきました。

## (社) 日本透析医会通常総会議事録

1. 会議の種類 平成 21 年度 通常総会
1. 開催場所 ホテルマイステイズ御茶ノ水 ホール A (東京都千代田区神田淡路町 2-10-6)
1. 開催日時 平成 21 年 5 月 17 日 (日) 14 時 00 分～15 時 30 分
1. 会員総数 1,202 名
1. 出席会員数 605 名 内訳 本人出席 15 名 書面出席 590 名

### 1. 議事の経過

定刻に到り、事務局長水本進氏から「本日の通常総会出席会員数は、定足数を満たしたので有効に成立した。」旨、告げられた。

初めに会長山崎親雄氏から挨拶があり、併せて本日の総会議長の選出が諮られ、満場一致をもって副会長吉田豊彦氏が選出された。

吉田議長は、議案審議に先立ち議事録署名人の選出選出を諮り、「議長一任」を受け、常務理事の鈴木正司氏及び、隈博政氏の両名を指名し、両名とも満場一致で選出された。

続いて議案の審議に入った。

### 第 1 号議案 平成 20 年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件

常務理事山川智之氏から、総会資料に基づき事業報告について、1. 会議 2. 委員会 3. 会務報告の順に説明があり、併せて専務理事杉崎弘章氏から、財務諸表について詳細な説明が行われた、引続いて監事今忠正氏から「平成 20 年度決算の監査結果は、妥当であった。」旨、報告された後、議長による採決が行われ、満場一致で承認された。

### 第 2 号議案 平成 21 年度事業計画及び予算の承認を求める件

常務理事山川智之氏から、総会資料により前年度事業実績に基づく平成 21 年度事業計画 (案) の概要の説明があり、続いて専務理事杉崎弘章氏から、予算 (案) の説明が行われた後、議長による採決の結果、満場一致で原案どおり可決承認された。

### 第 3 号議案 役員任期満了に伴う新役員承認を求める件

会長山崎親雄氏から「任期満了に際して、辞任される小野山攻理事、宮本孝理事、寺尾尚民理事の後任に篠田俊雄氏、江尻一成氏、川島周氏を選任し、それ以外の理事の方々は総て再任とする。また、常任理事について、吉田豊彦理事と大平整爾理事は副会長を辞するが、両名ともそれぞれの地域理事として継続いただき、副会長職の後任には、鈴木正司常務理事及び隈博政常務理事を選任する。新たに常務理事には戸澤修平氏と篠田俊雄氏を選任する。」旨、説明と提案があり、議長による採決の結果、満場一致で原案どおり可決承認された。

### 第 4 号議案 その他

#### 1. 顧問就任についての承認を求める件

会長山崎親雄氏から「今回役員を辞任される小野山攻氏、宮本孝氏及び寺尾尚民氏の 3 名について、顧問に

選任したい。」旨，提案があり議長による採決の結果，満場一致で承認された。


## 2. その他

会長の山崎親雄氏は，直面する課題として，①22年度診療報酬改定に向けての活動，②透析提供体制の見直し，③法人改革の対応，④同報メールの活用を挙げ，新体制を代表して，取り組みの決意を表明した。

15時30分をもって，通常総会の議案総てを終了し，議長は閉会を宣し解散した。  
以上，この議事録が正確であることを証するため，議長並びに議事録署名人がこれに署名押印する。

平成21年5月17日

社団法人日本透析医会通常総会に於いて

議 長 吉田豊彦 

議事録署名人 鈴木正司 

同 隈博政 

## (社) 日本透析医会 役員名簿

役 職 名	氏 名	現 職
会 長	山 崎 親 雄	医療法人衆済会 増子クリニック 院長
副 会 長	鈴 木 正 司	社会福祉法人新潟市社会事業協会 信楽園病院 顧問
専務理事	隈 博 政	医療法人明楽会 理事長 (くま腎クリニック)
常務理事	杉 崎 弘 章	医療法人社団心施会 理事長 (八王子東町クリニック)
	山 川 智 之	特別・特定医療法人仁真会 理事長 (白鷺病院)
	太 田 圭 洋	医療法人名古屋記念財団 理事長 (名古屋記念病院)
	戸 澤 修 平	医療法人社団北辰 理事長 (クリニック1・9・8 札幌)
	篠 田 俊 雄	医療法人財団 河北総合病院 透析センター長
理 事	井 形 昭 弘	名古屋学芸大学 学長
	太 田 和 夫	元太田医学研究所 所長
	山 下 眞 臣	社団法人日本国民年金協会 顧問
	澤 宏 紀	元国立健康・栄養研究所 所長
	前 田 憲 志	医療法人有心会 理事長 (大幸砂田橋クリニック)
	藤 見 惺	医療法人医心会福岡腎臓内科クリニック 院長
	松 田 鈴 夫	国際医療福祉大学 教授
	秋 澤 忠 男	昭和大学医学部腎臓内科 教授
(北海道)	大 平 整 爾	医療法人社団恵水会 札幌北クリニック 院長
(東 北)	関 野 宏	医療法人宏人会 理事長 (中央クリニック)
(東 北)	村 上 秀 一	医療法人三良会 理事長 (村上新町病院)
(関 東)	吉 田 豊 彦	医療法人社団誠仁会 理事長 (みはま病院)
(関 東)	黒 田 重 臣	くろだ明大前クリニック 院長
(関 東)	秋 葉 隆	東京女子医科大学腎臓病総合医療センター血液浄化療法科 教授
(甲信越)	土 屋 隆	医療法人輝山会 理事長 (輝山会記念病院)
(中 部)	指 出 昌 秀	医療法人社団一秀会 理事長 (指出泌尿器科)
(関 西)	江 尻 一 成	医療法人光寿会 理事長 (城陽江尻病院)
(関 西)	青 木 正	社会福祉法人京都社会事業財団西陣病院 顧問
(中 国)	土 谷 晋一郎	特定医療法人あかね会 理事長 (土谷総合病院)
(中 国)	山 下 達 博	医療法人社団博寿会 理事長 (山下医院)
(四 国)	川 島 周	医療法人川島会 理事長 (川島病院)
(九 州)	新 里 健	医療法人社団健昌会 理事長 (新里ネフロクリニック)
監 事	今 忠 正	医療法人社団恵水会 理事長 (札幌北クリニック)
	岩 月 史 郎	弁護士
	伊 原 美 好	公認会計士
名誉会長	稲 生 綱 政	特定医療法人大坪会 東和病院 名誉院長
	平 澤 由 平	舞平クリニック 院長